

しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、
圧倒的な勝利者となるのです。

(ローマ 8 : 37)

新緑が、ますますまぶしい季節到来ですね。皆さん、いかががお過ごしでしょうか。チア・マガジン 42号の入稿が終わり、今、印刷機がまわっています。チアの ID である「福音を宣べ伝える祝福」、「山あり谷あり、忍耐の中での神さまの圧倒的な勝利」満載の情報いっぱいです。今月末に発送できますので、どうぞ、お楽しみに。コンベンションも近づきました。ぜひ、ご参加とお祈り、お願いします。ますますの祝福を祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉寛夫

青空のジョイラン — 恐れるな。安心せよ。強くあれ (ダニエル 10 : 19)

チア・ジョイランニング、祝福の中で終わることができました。元資生堂陸上部、そして、NHK「ランスマ」、日経連載記事等でおなじみの真鍋未央さんをコーチに迎え、平日にも関わらず、120名と昨年を20名ほど上回る参加者の皆さんが集まりました。

天気予報はこの日を中心に一週間雨でしたが、当日は雨上がりの青空で、みんなで神さまを讃えました。淡いピンクの桜吹雪の中での5キロレースを始め、暖かくさわやかな日差しの中で、神さまを喜ばせるための走りが続きました。

そのありがたさを深くかみしめ、本当にすごかったんだな—と思ったのは、翌日です。寒い雨。さらにすごかったのだな—、これは神さまからの特別なメッセージなのだろうと思ったのは、翌々日です。雪まで降ったからです。大会前日も冷たい雨で、肌寒い一日でした。

もちろん、「雨にも負けない、たくましくチア」ですので、今年のジョイランのように冷たいどしゃ降りの雨でも「ものともせず」、神さまに感謝して楽しく、張り切って行ったと思います。でも、



チア・ジョイラン 真鍋未央コーチ (NHK「ラン・スマ」、日経等で活躍中) と共に、神さまに向かって走る！

今年の気持ちよい天候は、あまりに不思議な一日で、「わたしは共にいるよ」「恐れるな。安心せよ。強くあれ」(ダニエル 10 : 19) と言われた気がするのです。

1年越しで準備してくださった藤井一朗チア・アスレチックコーチに感謝。そして、仕事の先約を変更し、「去年のチアの子もたちの笑顔が忘れられなくて」と駆けつけてくれた未央コーチ。「京都マラソン」「渋谷・表参道ラン」のNHKでの放送を挟んでの登場でした。

その未央コーチから、私自身も一つ、具体的な

指導を受け、驚き感謝し、来たるコンベンションの意義と重なる発見をしました。「我流」だけで走らず、時には、第三者から謙虚に「チェックしてもらおう恵みと必要」の発見です。

チェックしてもらおう恵みと必要

「(未央コーチ) 稲葉さん、5キロ走の時、ケガをした右足をかばい、膝が極端に内に入って走ってました。その結果、体がねじれて走ってましたよ」「え、そうでしたか?」。僕は驚きました。前回お伝えした通り、2月上旬にスキーでひざの靭帯を全治3週間のケガをしました。4週間目には、LA マラソンに挑戦し、完走できました。しかし、自分でまったく気づかないで、右足をかばって走り、それが普通になっていたようです。「そうなのか……。全然、気づかなかった。このままだったら大変だったな」と思い、未央コーチに感謝しました。「その走りでは、必ず故障につながります。最初は、変な感じがするかもしれないけど、意識してまっすぐ足を出してください」とのことでした。

これはチャーチ&ホームスクーリングにも当てはまることだなと思いました。神さまに召されてスタートし、その後、風雪に耐えて、編み出した業で進んで行く「自己流」「我流」の強さもあると思います。でも、いつしか、自分では気づかない内に「ケガや事故につながる走り」になっている時もあるのではと思いました。マラソンレベルのケガならまだいいのですが、「教育」「チャーチ&ホームスクーリング」は子どもたちの魂の行方や将来に関わってくる「ケガ」や「病気」となりうるので重要です。パイオニアたちの良きところを学び、失敗した教訓を活かして、主にあって最善の選択をしてくださったらと心から願います。

今回のコンベンションも、「良きフォームチェック」や「軌道修正」、そして「さらなる強化」の場としても用いられたらよいなと思いました。教育・チャーチ&ホームスクーリングの原点や目的がクリアにされ、良い面はさらに励ましを受け、伸ばされ、修正すべき点は具体的に修正の方向性が見える、「知恵の心・判断する心」(1列王3:12)に満ちた意義深いコンベンションとなればと祈りました。

今年のジョイラン、昨秋のチア・オリンピック後から一念発起して走り始めたチャーチ&ホーム

スクーラー家族のフレッシュな活躍ほか、多くのドラマがありました。皆さんからの声は、22ページに掲載です。どうぞご覧ください。

楽しかった学校教育委員会との ミーティング

今春の学校・教育委員会とのやり取りは、感謝なことに、特に支障なく終わったケースが多いです。これまで「学校・教育委員会との接し方」シリーズを掲載し、決して「許可をもらう」という姿勢ではなく、「善意に基づき、敬意と礼節をもって連絡させていただく」ポイントを強調させていただきました。今年のは、その点をしっかり学習されて、臨まれた方が多かったです。

我が家も3番目のジョセフが6歳となったこともあり、学校、教育委員会とのやり取りを経験してみました。ロサンゼルスにも住所を持ちつつですが、あえて、住民票を東京のチアの事務局にも置き、実体験してみたのです。

最初は教育委員会と、2回めは学校の校長、教頭先生らとの合計2つのミーティングに出向きました。結論から言うと、どちらも、円満にホームスクーリング情報を伝えることができ、目的とした福音の種まきという意味でも、とても祝福された楽しいひと時を過ごすことができました。とても感謝でした。今回は、当日、実際に心がけ、実践した5ポイントだけ、下記に記しますね。

①最初、教育委員会から電話連絡を受けた段階から、穏やかに、でも法的な面での確信も持って、ホームスクーリング実施の決断を伝えた上で、「海外や日本全国でのホームスクーリングの現況等、お教えすることも可能ですので、予約して伺うことも可能です」と謙遜に、でも大胆に伝える。

②甘く見ないで、事前の準備をしっかりとる。これまでの「学校・教育委員会への対策講座」(4回シリーズ)をじっくりと読み直す。そして、文字通り、大型のスーツケースいっぱい資料を準備する。たとえば、孤立したカルト的な活動という誤解を避けるため、チア・コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナーのパンフレット等、全国的な展開・ネットワークの様子がわかる資料、チア・マガジン(約30冊程度。15年あまりの活動の継続性、そのインパクトを紹介するため)、『リ

か』『世界史』『こころを育てるために』等の教科書・教師用ガイド(特に『りか』は、小学校の先生方は、驚き、うらやましがる方々が多い。現場では、年々『りか』の教科書は薄くなり、1年生では『りか』が無くなりつつある中、チアの教科書は、小学校高学年レベルの内容がビジュアルにも楽しく組まれているため。また、『世界史』『心を育てる』の教師用ガイドの厚さは『人格教育・聖書教育』をしっかりと打ち出せる等のインパクトも大きい)、『聖書が教える親と子のコミュニケーション』、『チャイルドトレーニング』等の教育書籍、一般の問題集、そして、写真アルバム等を持っていきました。

写真アルバムは、日ごろの生活の様子、全国の友人との交わりの様子、スポーツ、音楽、芸術系等の課外活動の様子等、約200枚余りの2Lサイズ以上の写真をアルバム5冊にまとめ、持参しました。

資料を並べる数分間に、さっと読んでもらえるように、3つの資料を先に手渡しました。一つは、マガジン40号の68ページ右半分の「日本国憲法で保障されているチャーチ&ホームスクーリング」の表のコピー、2つめは今春の朝日新聞社説「学校外の学びの場について議論する文科省の検討会議」についてのコピー(「学びの場は学校だけとは限らない。別の選択肢もあるべき」との内容)。そしてニュースレター150号に掲載したチアの現況やチャーチ&ホームスクーラーの概数、進学先、就職先等の情報のコピーの以上3点セットです。それによって、法的には合憲であることがわかり、文科省の動きや多様性を認める全国の流れが伝えられ、そして進学先等、15年間の日本での実践や規模、世界の動きが概観できます。

③ミーティングに至るまでの挑発的、感情的な言動を受けても、ものともせず、山のように静かに対応する。私への教育委員会の直接の担当者の方は、とても謙遜で、「ホームスクーリングについて



神さまの御手の中で — 台東リバーサイド陸上競技場にて

は、よくわからないので、どうぞ、教えてください」とまごころを込めて話され、礼儀正しく対応してくださる方でした。しかし、ミーティングスケジュールを決める何度かのやり取りで電話に出られた別な方は違いました。「とにかく制度に従ってください」と、怒ったような感情的な発言を繰り返す方でした。そのような時は、パリサイ人に冷静に向かったイエスさまにならぬ、動じることなく、愛と忍耐と知恵と確信をもって対応することが肝心です。「もちろん、憲法、教育基本法にのっとって、遵法精神で行うものです。そのあたりの詳細は、電話では難しいので、今度、ミーティングの時に詳しくお教えしますね」と同情心をもって答えました。「制度」というものは、合わない部分は修正しなければならないし、その時代や為政者等によって変わります。しかし聖書の真理は不変で、「子どもたちの魂の育成」や「親子の絆」は、子どもたちの将来や永遠に影響をもたらす、大事なポイントです。しかし、それを電話で話しても無理があるので、後に、ミーティングの場で謙遜に教えます。

④ミーティングの目的を明確に意識する。単に『我が家のためだけのホームスクーリング』の説明に終わらず、この情報は地域の各家庭の教育に貢献する必須の情報であるという確信を持ち、また、将来の伝道の種まきとなるように、礼節と敬意と感謝と同情心と祈りをもって臨みます。お母さん

だけではなく、お父さんもできる限り出席。あいさつの後、「まず、資料を準備する時間を2分ほどください」と言って、スーツケースをテキパキと拵げ、「その間、これを読んでおいてください」と言い、上記3点セットを渡す（この時、自分たちの趣旨をまとめた手紙を加えることも可能。手紙サンプルは、マガジン36号、チアHPに掲載）。

持ってきた資料を並べないうちに、話しが断片的に始まってしまうケースもあるので、最初はこちらがリードすることが肝心。「虐待等は論外です」と明確にする。昨今の親による虐待問題も教育委員会の皆さんは懸念されていると思うので、その旨は明確にした上で、「学校任せではなく、聖書が教育の原点として教えるように、親が責任をもって、子育てをしていく所存です。祖父母や、スポーツ、音楽ほか様々な地域のクラブ、いろいろな皆さんの助けを得ながらですが」と、テーマを明確に打ち出す（このあたりの詳細はこれまでの「接し方」をご覧ください）。

⑤写真アルバムで場が和みました。5冊を持って行きましたが、時間の関係で、2冊ぐらいに絞って見せました。とにかく、情報を積極的に開示している姿勢、そして、ただの論理ではなく、実を見せて考えてもらう姿勢でいきました。校長先生とのミーティング時には、ジョセフの同行をリクエストされたので、積極的に応じました。「アメリカでは、子どもへの悪影響等を考え、人権の問題で応じないケースが多いですが、でも、良いと思います」と、一応、無条件ではないことを確認した上での同行です。ミーティング中、ジョセフは図鑑等を静かに読んでいて、また、質問への受け答えもにこやかに答えていたので、先生方も好感をもって接してくれました。「親御さんがしっかり責任を持って取り組もうとしているところに、無理やり学校に来てくださいという思いはありません」と話してくれ、「良かったらお友達になりましょう」とジョセフに呼びかけてくれ、年に1-2回、面談することは理解しますということで、終わりました。

上記の通り、全国のチアのメンバーの皆さんか



チェックしてもらう恵みと必要

らも、良い報告が相次ぎました。社会全体としても、何が何でも学校という建物の中で…という風潮も無くなってきている『時代』の風もあるかもしれません。『時代』を動かす神さまが、一歩、一歩、助けてくださり、真理の強さの中で切り拓き、また、導かれていることを実感しています。

文科省

「フリースクール等に関する検討会議」委員のB教授とのミーティングにて

4月中旬、知人のA教授の紹介で、上記の文科省の検討会議委員を務めているB教授とミーティングを持ちました。ホームスクーリングの現況は、「政府も含め、研究者の皆さんも、十分、把握できてないので詳細を伺いたい」とのことでした。それで教育委員会のミーティング同様、大型スーツケースいっぱい資料を持って、研究室に向かいました。

好意的に次々と質問くださり、楽しかったです。とても面白かったのは、1980年代、アメリカで『教育義務法違反では…』と、違法行為の嫌疑がかけられ法廷闘争になったと話した時です。結果的には全州で合憲合法が勝ち取られ、今日300万人に及ぶ、ホームスクーリング人口に成長しています。

「(B教授)日本の憲法でも、学校での教育の義務を言っていないのですよね」、さらに「確かに、Compulsive Education Law、つまり、教育義務法なのですよね。日本で言う、学校という建物に行かせなければならないとの意味の『就学義務』ではなく、教育の義務をまっとうしなさいとの『教

育義務』と言うべきなんだな」と言われ、「その通り」と思いました。

こちらからの要望としては、「私たちホームスクーラーが目指しているのは、補助金等の獲得ではないです。現在も事実上、自由が与えられていますが、それが明文化されてくればもっといいですね。でも、このような審議が進むと、普通は補助金等の話しになり、許認可組織や行政法人が作られるケースが多いですよ。補助金が出る代わりに、様々な縛りやチェックが出てくるなら、本旨ではないです。世界で理解されている通り、人間の基本的な人権や自然権からの当然の権利だと行政も認識し、ホームスクーリングが優れた選択肢や、親のあり方の模範として位置づけられていたら素晴らしいと思うし、日本の教育に大きなインパクトを与え、貢献すると思います」と伝え、「その通りですね。またいろいろと現場からの情報をください」とのことでした。このあたりも含め、日本の教育行政や、各家族が、聖書の解決法に目覚め、福音が拡がっていくように…と祈りました。検討会議への導きや祝福も、どうぞお祈りください。

ペース配分

5月初旬、オレンジマラソンに出場でき、この体験を通して、神さまから新しく、いろいろと学べました。3回めのフルマラソンで、最高記録でしたが、一番、きつかったです。今回は、今まで学んだ「ペース配分を守る」という基本からはずれてやったらどうなるか、試してみました。

神さまの恵みの体験

走り終わっての一番の教訓は、神さまの恵みの力です。今回のレースは、過酷でした。18キロを過ぎたあたりでエネルギーゼロで、歩くこともできないようになりました。たとえ途中棄権しても、1万人あまりの比較的、小さな大会で、救護車等の配備もなく、自力で帰るしかありません。そこでの祈りは、「神さま、恵みの力で走らせてください」との祈りでした。何とか、24キロほどまで歩くと、その後、力が与えられ、ゴールすることができました。時間も、初回より15分、前回より30分早いゴールでした。これは文字通り、神さまの恵みの力であると、僕自身、心からそう思っています。

基本に沿っての行動

そこまで苦しんだ一つの原因は、基本に従わないでやってみればどうなるか、試してみたからです。前半はペースを抑えるのが基本です。でも、今回、初めてケガなしで臨めたので、前半は早いチームと一緒に走りました。10数キロまで快調でしたが、18キロで地獄が待っていました。結論としては、やはり、基本に沿って行動しなければだめだと痛感しました。これもチャーチ&ホームスクーリングの歩み、基本である聖書に忠実に…に当てはまることと思いました。

チャーチ&ホームスクーリングは、フルマラソンだと思います。それぞれのペース配分を考え、とにかく焦らず、時に休みつつ、神さまの恵みの力で息長く進むことを刻んでいければと思います。「あなたの道を主にゆだねよ。主が成し遂げてくださる」（詩篇37篇5節）ですね。それでいつも申し上げていますが、今回のチア・コンベンションも、『どうぞ、気楽に休みに来てくだされば』と思います。

東南アジア3カ国伝道訓練の恵み

エミリが、1ヶ月半のA国、カンボジア、タイの伝道訓練の旅から元気に戻ってきました。「すごく良かった！ 伝道チームのメンバーや伝道先で出会った人々との別れが辛かった」というコメントが第一声。学校伝道、バイクに乗ってのパンフレット伝道、映画伝道と、伝道の日々を分かち合ってくれました。

A国は、貧しいけれども、人々の心が穏やかで素朴で明るく、各地であたたかく迎えられたとのことでした。A国の最終日、エミリから「アイラブA国！」とメールが届きました。2カ国めのカンボジアは、A国よりも物質的には豊かなものの、ベトナム戦争時代、200万人以上の人々が虐殺されたりした傷痕等、深く残っている感じがしたそうです。クメールルージュの虐殺記念館にも連れて行ってもらい、心を痛めたと、記念館のパンフレットを見せてくれました。犯罪率が高く、悲しみに満ちた印象を感じたとのことでした。でも、とりわけカンボジアの人々を心から愛する思いが与えられたそうです。

学校では、伝道パンフレットを全員に自由に配ることができ、多くの人々が真剣に読んでくれた

とのことでした。あるヒンズー教徒の村で伝道した時に、同じ18歳の女性たち2人と友達になり、彼女たちは、間もなく、結婚へと売られていくということでした。「結婚したくない」「どうして?」「これから奴隷の生活が始まる。美人でなければ、花嫁の親が花婿にお金を支払わなければならないんだよ」「それって変だよ」「恐いんだ」「恐いね」。2人の友達は心を開き、福音を受け取ってくれたとのことでした。

日本人の知人女性が20年余り、プノンペンで孤児院を展開しています。エイズの子どもたちも含め、30名あまりをケアしています。2

日間ですが、そこでボランティア訓練をさせよう予定で、前日に打ち合わせに行ったら、Cさんから「明日、ピアノの伴奏をしてほしいの。日本の教会の皆さんに見せる、子どもたちの賛美のビデオの収録日なの。孤児院には、ピアノを弾ける人が誰もいないの。エミリ、来てくれてありがとう! 明日、よろしくね」「え? 私、ピアノ弾けません」「大丈夫なはずよ。お父さん、エミリはピアノ弾けますと言ってたから」との話になったとのことでした。エミリはバイオリンは得意ですが、ピアノは、趣味で弾くぐらいで自信がなかったようです。

後で、その日のビデオを見ました。エミリはバックで演奏していて表情も見えないのですが、一緒に見たジョセフは「エミリだ!」とうれしそうに叫びました。子どもたちの元気な歌声に合わせて、エミリも楽しそうに賛美演奏していました。

翌日は、英語の先生になり、三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』の英語版を読んであげたり、ティーンの子どもたちといろいろと交わったりで、楽しそうな写真がCさんから送られてきました。Cさんは「エミリが帰った後、子どもたちが寂しがり、今度、エミリはいつ来るのかと何人も聞いてきました」と御礼のメールを送ってくれました。本当に感謝でした。カンボジアでの滞在の最後2日間、ホームスクーラーOGの浦上真祈さんとの再会もありました。日本語教師に採用され、初めてカンボジアに到着し、これから1年の任務に臨むそうです。LITのお姉さんとして、日



カンボジアの孤児院にて - 英会話を教え、楽しい交わり

本で出会っていた仲です。カンボジアチームと真祈さんとのささやかなブリッジ役の機会も与えられました。カンボジアの人々は、エミリにとって特別な存在になったとのことでした。

タイでは、バイクの運転を覚え、村々を駆け回ったの伝道の日々。タイが一番豊かだけど、人々の心は物質に向かっている気がして、聖書に書いてる通りだなと思ったとのこと。高さ7メートルの電柱に梯子をかけて登り、畳半畳ほどの聖句看板を掛ける伝道をしたけれど、チームリーダーのDさんから、お父さんの許可をもらいなさいとのこと、電話がかかってきました。男性がやっているのを写真で見たことがありましたが、ま、エミリは大丈夫だろうし、きっと深く心に刻まれるだろうと思い、「いいよ! 気をつけてね」と伝えました。帰ってきて、写真を見てびっくりしましたが、「梯子の後、さらに2mぐらい上に登る? どうやって登ったの?」「電柱に電線の作業用の足場の穴があって、そこに杭を自分で入れて、そこを足場に上に登るんだよ。低いと、看板をはずされちゃうこともあるんだって。でも、7メートルを超えると、誰もはずそうとしないで、多くの人が良く読んでくれるんだよ」「そうなの? すごいな。その仮の足場で、どうやって看板を上にあげるの?」「ロープで看板を引き上げるんだよ。今は男性で登れるメンバーがいなくて、みんな女性チームが登ってやってるんだよ」

タイの伝道チームの女性たちは、恋人の命令で麻薬のディーラーとなり投獄された女性や、様々



タイの聖句看板伝道

な経歴の女性たちが集められ、「(もう一人のチームリーダーの) Eさんが『聖書にある通り、この世的には弱いと言われるみんなが集められてるんだ』と言ってたよ。みんなとの話しがとても良かった」とのことでした。Eさんからは「エミリが地元のスタッフたちと本当によく交わってくれて、とても喜ばれ、別れを惜しまれてた。ぜひ、また来てください」とメールをいただきました。神さま、貴重な体験、大いなるプレゼントをエミリに与えてくれたのだと思います。皆さん、お祈り、ありがとうございました。

父、ICUへ

私の父ですが、連休中に心不全で救急車で運ばれ、ICU入りとなりました。皆さんにお祈りしてもらっていましたが、心臓病と脳梗塞で、救急車は3回めです。今回も妹(小学校の先生)が、休日に来てくれて対応してくれたので、一命をとりとめました。その後、1週間あまりして、妹から急変の連絡が来ました。記憶が無くなり、意識混濁、食事はできず点滴のみ、病室で寝泊まりして、そ

こから小学校に通勤している、「今までとまったく違う状況」とのこと、「涙」とのことでした。父も心配ですが、妹も心配です。介護施設にいる母も含め、この20年あまり、妹が主に、両親の介護を担ってきたからです。病気の本人も大変だけど、介護者の介護疲れも大変です。それで、私も急ぎよ、予定を早めて、日本に向かうことにしました。

日本に戻る飛行機の中で、父の意識がほぼ回復したとの連絡が妹から届きました。でも食事等はできず、今後、寝たきりで、点滴だけの人生になるか、リハビリで回復していけるか、瀬戸際です。お祈りいただければ幸いです。

最後に、チアのIDについて教えられたことを分かち合います。3日ほど前、ジョセフが漢字の練習をしていました。「(ジョセフ) ヤマ。山あり、谷ありだね」「え? そうだよ。人生、山あり、谷あり。どうして、その言葉を知ってるの?」「だってダディ、よく話しているでしょう」「そうかー。その通りだね。人生、願い通りに進む時、山のような高い所を歩んでいる時と、進まない時、谷のような低い時がある。でも、どちらも神さまが導いてくれていて、僕らは神さまを信じて、忍耐して、恵みの力をお願いして、希望をもって歩くということだね」

その夜、チアのティーンたちが、夢に出てきました。「いろいろと考えたけど、チアは何が違うか、アイデンティティーを考えた。チアのアイデンティティーは、喜んで積極的に伝道することだよ。結果は神さまに委ねて、大胆に! そして、伝道の機会が与えられますように…と神さまに祈り続けるころだよ。これが私のアイデンティティーになってるんだと気づいたよ」。そう笑顔で話してくれて、僕は目が覚めました。

人生、山あり、谷あり。でも、神さまに信頼して、委ねて、恵みの力で「恐れるな。安心せよ。強くあれ」(ダニエル 10:19) で歩んで行ければと思いました。そして、伝道の力。

これらの素晴らしいミッションを胸に、すべてに感謝し、喜んで歩んでいければと思っています。近づいたコンベンション、ぜひ、ご参加ください。またお祈りください。

皆様へのますますの祝福を心から祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

☆ 千ア・コンベンション 2015 ☆

大阪：6月5日（金）、6日（土）

大阪府羽衣青少年センター

（大阪府高石市羽衣公園丁）

東京：6月12日（金）、13日（土）

国立オリンピック記念青少年総合センター

（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

家族・教育の聖書への回復！ どなたでも大歓迎！

**昨年参加 740名！ 講師約30名、約80の基調講演・分科会！
ユース向けセッション増設！ 聖書が教える教育の本格派コンベンション！**

大阪 スケジュール（予定・敬称略）

〔6月5日〕

9:10 受付開始
9:25 プロムナード 賛美
9:35 開会 挨拶と祈り
9:50～10:50 基調講演①
ノーム・ウェイクフィールド
11:00～11:30 基調講演② ピリポ・ブローマン
11:40～13:00 昼食
13:00～13:35 賛美 インフォメーション
13:40～14:30 分科会①

ノーム・ ウェイクフィールド 稲葉 寛夫	伊藤 義和&こずえ ピリポ・ブローマン 慶大実験（赤林・大垣）
----------------------------	---------------------------------------

14:45～15:35 分科会②

ノーム・ ウェイクフィールド 山川 哲平&真紀子	大久保 みどり 藤田 桂子 慶大実験（赤林・大垣） 稲村 直喜&真由美
--------------------------------	----------------------------------------------

15:50～16:40 分科会③

ノーム・ ウェイクフィールド 宇佐神 実	山川 高平&久子 ピリポ・ブローマン 慶大実験（赤林・大垣）
----------------------------	--------------------------------------

16:40～16:55 インフォメーション&祈り

17:30～20:30 慶大実験（赤林・大垣）

〔6月6日〕

9:00 受付開始
9:10 プロムナード 賛美
9:15 開会 挨拶と祈り
9:25～10:25 基調講演③
ノーム・ウェイクフィールド
10:35～11:05 基調講演④ 稲葉 寛夫
11:15～12:05 分科会④

ノーム ウェイクフィールド 宇佐神 実 那須 清志&百合美	ピリポ・ブローマン 慶大実験（赤林・大垣） 浦上 豊秋&悦子
----------------------------------------	--------------------------------------

12:10～13:05 昼食

13:15～13:40 賛美 表彰式

13:55～14:45 分科会⑤

ノーム・ ウェイクフィールド ナタン・ブローマン ピーター・ブロックソム	岡田 恵理也&愛 慶大実験（赤林・大垣） 松岡 淳裕
-----------------------------------------------	----------------------------------

15:00～15:50 分科会⑥

ノーム・ ウェイクフィールド 太田 仁一	森山 剛&有佳子 竿代 健 慶大実験（赤林・大垣）
----------------------------	---------------------------------

16:15～16:45 フィナーレ・チルミニ賛美

東京 スケジュール (予定・敬称略)

(12日)

8:40 受付開始
 9:25 プロムナード 賛美
 9:35 開会 挨拶と祈り
 9:50～10:50 基調講演①
 ノーム・ウェイクフィールド
 11:00～11:30 基調講演② ピリポ・ブローマン
 11:35～11:45 インフォメーション
 11:45～13:05 昼食
 13:05～13:30 賛美 インフォメーション
 13:45～14:35 分科会①

ノーム・ ウェイクフィールド 宇佐神 実 稲葉 寛夫	慶大実験 (赤林・大垣) 太田 仁一 森脇 弘隆&由美子 伊澤 聡一郎&恵美
-------------------------------------	-------------------------------------------------

14:50～15:40 分科会②

ノーム・ ウェイクフィールド 辻岡 健象&敏子 梶山 直樹&志津	慶大実験 (赤林・大垣) ピリポ・ブローマン 藤井 一朗 堀井 洋二
-------------------------------------------	---------------------------------------------

15:55～16:45 分科会③

ノーム・ ウェイクフィールド 藤田 桂子 ナタン・ブローマン	慶大実験 (赤林・大垣) 堀井 卓・宮崎 聡 辻 寿・奈央子 谷井 涙賀&玲子
-----------------------------------------	--------------------------------------------------

17:00～18:40 夕食
 18:45～21:00 自己紹介&アップデートタイム

(13日)

8:40 受付開始
 9:10 プロムナード 賛美
 9:20 開会 挨拶と祈り
 9:30～10:30 基調講演③
 ノーム・ウェイクフィールド
 10:40～11:10 基調講演④ 稲葉 寛夫
 11:30～12:20 分科会④

ノーム・ ウェイクフィールド 田村 正幸 宇佐神 実	慶大実験 (赤林・大垣) ピリポ・ブローマン 高倉 正&幸子 オモルイ 節子
-------------------------------------	-------------------------------------------------

12:20～13:20 昼食
 13:30～13:55 賛美&絵画表彰式
 14:15～15:05 分科会⑤

ノーム・ ウェイクフィールド 井上 正人&知恵 ピーター・ブロックソム	慶大実験 (赤林・大垣) 小西 辰則&智恵美 成瀬 太郎&由紀子 赤津 裕治&めぐみ
----------------------------------------------	-----------------------------------------------------

15:20～16:10 分科会⑥

ノーム・ ウェイクフィールド グレッグ& とも子スミス	藤田 桂子 慶大実験 (赤林・大垣) ピリポ・ブローマン 志賀 信泰&麗子
--------------------------------------	------------------------------------------------

16:30～17:00 フィナーレ・チルミニ賛美

【 東京 宿泊情報 】

■国立オリンピック記念青少年総合センター (会場内)

少し余裕がありますので、ご希望の方はチアにお申し込み下さい。定員になり次第、締切となります。
 詳細はコンベンションパンフをご覧ください。

第6回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- テーマ：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門：(1) 幼稚園の部 (2) 小学生の部 (3) 中高生の部 (4) 一般の部
- サイズ：自由 (※作品の裏に、氏名 (フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由 (100 以内) をお書き下さい。
- 応募締切：5月28日 (木)

第4回 聖句書道掛け軸展

<応募要項>

- テーマ：聖書からのテーマを
もとに、内容は自由。
- 対象：どなたでも OK!
- サイズ：八つ切りサイズ
- 応募方法：作品に名前を書き、
掛け軸に貼った状態でお送り下さい。
- 応募締切：5月28日 (木)

大阪コンベンション企画！ ★体の中を知ろう！動物解剖実験！★

(ハクビシンもしくは、テン（イタチ科）使用予定)

NPO 大阪自然史センターより講師に米澤里美さんをお迎えします。動物の体の中がどうなっているのか、実際みんなで見て触って感じてみよう★

普段なかなか見ることのできない体の中ですが、内臓・血管・筋肉・骨などがあり、それぞれの役割にあった形をしています。既に死んでしまった動物の体の解剖実験を通して、動物や私たち人間を精巧に造られた神様の素晴らしさを体験しよう！

実施日：2015年6月5日（金）午後
分科会1のチルミニの時間帯に
子供たち向け（2歳～18歳）で開催！

*米澤里美さんは、チアスタッフ米澤輝美さんのお姉さん。現在、大阪の長居にある大阪自然史博物館にて子供たちのワークショップなどを担当し、動物や植物のことを人々に伝える働きをしています！



ご参加お待ちしております！

チルミニ！！ 星野富弘さんの詩で♪賛美♪



「銀色のあしあと 三浦綾子・星野富弘」
(いのちのことば社刊) より

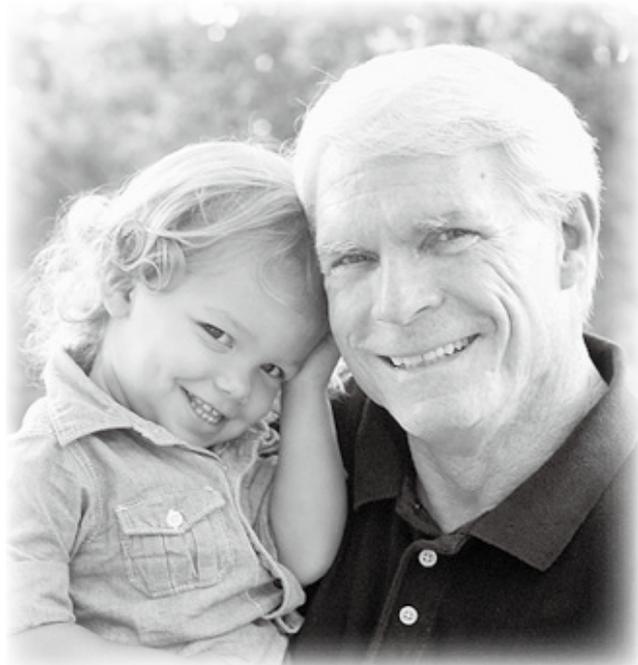
星野富弘さんの詩を用いた讃美歌を、チルミニ賛美リーダーの山川哲平さんが作曲！今年のチルミニ賛美で練習予定です。東京コンベンション終了後、星野富弘さん昌子さんご夫妻の前で賛美予定です。大阪・東京どちらかのコンベンションで練習された子どもたちは、誰でも参加OKです！

(東京コンベンションの翌週、場所はとみひろ美術館を予定。富弘さんの体調によります。)

*希望者は、チア事務局までご連絡ください。

★ぜひ、お早めにお申し込みを！★

千ア・コンベンション講演抄録



主講師：ノーム・ウェイクフィールド

エリヤの霊ミニストリーズ創設者&代表

キリストと歩む4人の子どもたちを育て、17人の孫に恵まれる。1984年にホームスクーリングをスタートし、現在も孫をホームスクーリング中。

神はノーム氏に、福音がいかにか「きずな」を強めるか、人生の様々な局面に機能するかを教える賜物を与え、1992年以来、全米、世界各地で用いられている。

2003年白馬セミナー、2004年大阪コンベンションに続き、11年ぶりの来日。ダウン症の娘、アマンドがスタッフとしてミニストリーを助けている。

【主講師基調講演 (Keynote)】

- ホームスクーリングの中で、
私たちを変える神の愛の力
The Transforming Power of
God's Love in Homeschooling

互いに愛し合わなければならないことは周知の事実です。しかし、皆が、どのように実践するかを知っているわけではありません。教育と訓戒を施す愛のある環境を築くにあたって最も大きな障害物となるものは、偶像礼拝の心です。偶像礼拝とは、この世が与え、心を支配する、偽の神の愛のようなものです。このセッションでは、ノーム氏が、家族にとって最もチャレンジとなるゴールの一つ、愛の関係について実践的な洞察を与えてくれます。これらの真理によって、夫婦関係や親子関係が癒され、強められることでしょう。

- 親が子どもに語る最も効果的な言葉
The Most Powerful Words a Parent can Say
人の心が聞くことのできる最も効果的な言葉は

何でしょうか？このセッションの中で、「愛しているよ」と言うよりも、もっと効果的な言葉があることを知って驚かれるかもしれません。天の父の心と、旧約時代のすべての父たちに語られ、御子イエス・キリストを通して語られた力強く、効果的な言葉を示します。そして、子どもたちを教え訓戒するときに、どのように効果的にインパクトを与えることができるかについて、実践的なヒントが提供されます。

【主講師分科会 (Workshops)】

- 家族に対する神の青写真
- 家庭を基盤とした弟子訓練
God's Blueprint for the Family:
Home-based Discipleship

次世代、3世代、4世代と続く、敬虔の遺産を築き上げたいと思いませんか？このセッションでは、主のために将来の世代を整え、準備させる、神のご計画を提示します。エリヤの霊、聖霊が、人の心を神に向けさせ、その妻、子供たちに向けさせます。それは、次世代の人たちに、神と共に

歩む備えをさせるためです。

■ イエス・キリストー人生の嵐の中で下ろす錨
Jesus Christ -

The Anchor in the Storms of Life

自分の子供を教育しようと努力する中で、史上最大規模の台風や大地震に遭遇したような気持ちになったことはありませんか？キリストに錨を下ろすことを学びましょう。そうすれば、あなたの行く手に何がやってこようともしっかりと立つことができ、子どもたちもしっかりと導くことができます。

■ 聞く耳ー学習者としての基本

Ears to Hear:

The Foundational Lesson for Learning

聞いているのに聞いていない、見ているのに見ていないことがあります。知っていましたか？イエスはご自分の弟子たちに、もしこの教訓から学ばなければ、ご自分のすべての教えを理解することができないと言われました。聞くことは、学習するための技術です。イエスはそれを基本的な教訓として表現されました。もし、あなたが、聞き方を知らないのであれば、あなたと神との関係について騙されている危険があり、人生のあらゆる学びに向けて、準備不足です。

■ 母としてティーンの息子たちと（あるいは自分の夫がティーンの息子のように振る舞うとき）どう関わるか？

What's a Mom to Do with Teenage Sons
(or husbands when they act like one)?

多くのホームスクーリングママたちが、息子たちとの間でしばしば起こる衝突で悲しんでいます。特に、息子たちのティーン時代に起こります。母親は、あの幼かった息子が父親に自分を重ね始め大人になっていく過渡期を、どのように扱えばいいのでしょうか。また、この時期の母親の役目

は何でしょうか？指導しながらも、息子との関係を強めるために何ができるのでしょうか？その疑問などにお答えします。

■ 子育てにおける親の謙遜の力

The Power of Humility in Parenting

親子関係に価値を加える、親ができる一つの最も効果的な方法は、自分がより謙遜になっていくことであり、子供たちにキリストの謙遜さを表す方法を学ぶことです。親であるあなたが子供たちに確実に影響を与え、親としてのあなたの価値を高める実践的な方法を提供します。

■ 子どもをしつける時の希望の力

The Power of Hope in Disciplining your Children

自分の子どもたちの心をつかんでいる人は誰でしょうか？それは、子どもたちに一番多くの希望を与えた人です。それが「希望」の威力なのです。親は子どもたちに正しいことを教えます。しかし、重要で力強い希望を彼らの人生に育てていくことを怠っています。その結果、起こってくることは、この世の基準や価値観に影響され、親の教えや聖書の価値観から外れるティーンたちを生み出すことです。子どもたちを訓戒しながら、どのように家庭を希望で満たしていくかを学びましょう。

■ 永遠の視点から行うクリスチャン家庭教育

Christian Home Education from

an Eternal Perspective

それぞれが持つ世界観は、家庭教育や生活上の困難への反応はもちろんのこと、教育のあらゆる面に影響を与えます。神は、人生において永遠の視点を保ち続ける者に、召しに必要な恵みと力、天からの知恵を与えると定められました。永遠の視点から生き、教えられることについて神の言葉は何と言っているのでしょうか。このセッションは、皆さんを大いに励ますこととなるでしょう。地上で生きている間、天国での生き方について学

び、子どもたちにも永遠の視点からの生き方を教えることができるようになります。

【基調講演】

■「大事な決心」

ピリポ・ブローマン

一人ひとりのクリスチャンは、一生の間様々な決心に直面します。私の経験と聖書の言葉から、そのいくつかについてお話しします。

1. 仕事とお金
2. 生涯は自分のためにか、キリストのためか
3. 将来の生活の保障
4. 聖書の役割
5. 結婚
6. 教会の一員としての役割

【分科会】（五十音順・敬称略）

■「親の心を子に向けさせ、子の心を御父に向 ーホームスクールは家長の父がリーダーとして リードするー」

（東京会場） 赤津 裕治&めぐみ

我が家は、長男20歳（大3）、次男18歳、長女12歳（中1）、次女9歳（小4）の4人をホームスクーリング中。2000年8月、我が家のホームスクールの歩みは、御言葉でスタートし、御言葉でチャレンジを受け、御言葉で養われ、現在も進行中です。あれから15年、今回、

- ①聖書的なムチ＝子供の心を清めるための最善、最短な神の方法
 - ②お父さんが教えるべき純潔教育と性教育
 - ③大学生活について思う事
- などなど、長男のコメントや証を交えながら、お分かちできたらと思います。

■「経済実験（慶應義塾大学、予約制）」

（大阪・東京会場） 赤林 英夫・大垣 昌夫

■「ありの～ままで～♪…、

我が家のホームスクールをお話しします！」
（東京会場） 伊澤 聡一郎&恵美

5年目に入った我が家のホームスクーリング。その実像をできるだけ「ありの～ままで～♪」紹介させて下さい！特にこの1年は挫折の繰り返しで、自信をもってお伝えできることはありません。しかし、山あり谷ありの渦中で、親の側の自信や高ぶりがどんどん砕かれた結果、感謝が数多く与えられ、まさに「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。（詩篇 119:71）」の思いです。あわせて、子供達的生活・勉強の管理方法等、具体的な実践内容もご紹介します。（注：分科会での講演内容は「アナ雪」と直接関係ありません（笑）。）

■「恵みの拡大～ホームスクーリング

11年目の伊藤家のありのまま」
（大阪会場） 伊藤 義和&こずえ

右も左も分からないまま主の召しに従い、チアの書籍だけを頼りにホームスクーリングを始めてから11年が経ちました。3歳だった長男は14歳になりました。大海原に家族4人で漕ぎ出したような不安も入り混じるスタートでしたが、主の召しに従っているという平安が支えとなりました。息子ももう一人加えられ（現在5歳）主の豊かな恵みによって今があります。大草原の小さな家のように家族皆で仲良く、楽しく、たくましく成長していきたいと願っています。息子は三人三様で、それぞれ運動嫌い、勉強苦手、世の中大好きなど弱さも違います。そんな我が家のホームスクーリングを振り返りつつ最近の様子をお分かち出来ればと思います。

■「チャーチ&ホームスクーリング

ー必ず聞かれる20の質問」
（大阪・東京会場） 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そ

んな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は?」「微分、積分ができなくても教えられる?」「聖書が教える教育法は?」「しつけは?」「大学進学、就職は?」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって?」「週2時間からできるチャーチスクーリング・ホームスクーリングって?」。この13年の全国各地でのセミナーで多かったQ & Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース!

■「うつ病を通して教えられたこと」

(大阪会場)

稲村 直喜

2013年に、仕事のストレスと過労により、「ストレス性抑うつ状態」の診断を受け、一時期は死を考えるほど。仕事を失い、敗北感と虚しさからインターネットのポルノ中毒にも。そのようなどん底の状態から、ただイエスさまの恵み、憐れみによって、再び主の愛に立ち返った経験を証します。

■「主の御前から回復がくる」

(大阪会場)

稲村 真由美

ホームスクーリング9年目。お話しすることは、ホームスクーリングのノウハウではなく、私たち夫婦の"黒歴史"! ? 呆れかえったり、馬鹿にされたりしても仕方がないような内容ばかり。けれども、私たちにとって暗く、蓋をしてしまいたいような過去も、益と変えてくださる神様に感謝します。

■「ホームスクーラーの社会性は大丈夫!

一緒に社会性について考えましょう」

(東京会場)

井上 正人&知恵

米沢でホームスクーリング(22歳、20歳、17歳、16歳、6歳の5人)をして12年。6年半前「チャーチ&ホームスクーリングを考える会 in 米

沢」を立ち上げ、地道に続けています。今回は、昨年度の分科会でテーマにした「社会性」について、再度みなさんと一緒に考えてみたいと思います。ホームスクーリングしていると、「子どもたちの社会性は大丈夫なの?」「学校に通って集団生活をしなければ社会性は身に付けられないのではないの?」と問われることは多いと思います。ホームスクーリングをしている子どもたちの社会性はいかに? 本当に社会性が育たないのでしょうか? それでは、学校で身に付ける社会性とはどんなものでしょう? ホームスクーラーが身に付けるべき本当の社会性とは? 我が家の子どもたちの生活の様子も交えながらお話ししたいと思います。

■「言語の起源 創世記 10:1-14, 11:1-9」

(大阪・東京会場)

宇佐神 実

現在、8000以上の言語が知られています。これらの言語はいつどのように出現したのでしょうか。進化論では、鳥のさえずりや動物の鳴き声に人が受け継がれてやがてことばに発達し、それが世界中に広がったと考えます。しかし、聖書は、バベルの塔の事件以降たくさんの言語に分かれたことを教えています。聖書と言語学に基づいて真の言語の起源を考え、また日本人のルーツについても考察します。

■「創世記と漢字の起源

創世記 10:15-17, 11:1-9」

(大阪・東京会場)

宇佐神 実

漢字は中国人によって作られましたが、中国人はもともとバベルの塔の事件後に散らされた人々で、天地創造からバベルの塔までの歴史(創世記1~11章)を共有していたでしょう。また、自分たちの知っているその創世記の歴史に基づいて漢字を作ったということが推測されます。そのような視点から漢字を見ていくと、漢字と創世記に切っても切れない関係があるのが見えてきます。

■「我が家のホームスクール、悔い改めと感謝」
(大阪会場) 浦上 豊秋&悦子

「人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。(箴言19:21)」

長男は現在中学2年生。ホームスクールを展開中です。次女はホームスクールから現在大学2年生へ進み、日々戦っています。長女は、今年の四月に通信制の大学を卒業し、カンボジアでの日本語教師の道を歩み出しました。我が家のありふれた日常のホームスクールにおける悔い改めと恵みについてお分かちできればと思います。

■「聖書の和敬清寂」
(大阪会場) 大久保 みどり

宣教の土着化は大変重要な問題です。日本のチャーチスクーラー・ホームスクーラーが日本人として、世界人として、天国人として調和の取れた成長を望むために、日本文化の神髄の一つとも言える侘び寂びの精神が聖書の中にどの様に秘められているかを探ります。戦乱の血生臭い時代に、何故、和敬清寂の精神が武士から町人、農民に至るまで広く深く受け入れられていったのか、武士道、茶道、聖書の精神に合い通じる所があったからではないかと考えられます。真理をつかんで羽ばたいて欲しいと願います。

■「親の役割」
(大阪・東京会場) 太田 仁一

イエスは、サタン(悪魔)の試み(誘惑)を受けました。このときイエスは神の言葉(聖書)でサタンを退けました。子どももまた多くの誘惑にさらされています。子どもをサタンの攻撃から守るためには、聖書を読むこと、子どもに聖書を読ませることです。そして、子どもに行くべき道を示すこと、方向を示すこと、目的を与えることが親権者たる親に委ねられています。このようなことを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

■「人ではなく、神を恐れよ～ホームスクーリング移行期の導きと葛藤と恵み～」
(大阪会場)

岡田 恵理也&愛

「親子の絆をしっかりと築き、信仰について家庭できちんと教えていくなら、学校へ子どもを送り出すことはむしろ宣教につながり、信仰継承する上でも大した障害にはならない。」と主張した夫。「幼稚園のお友達と一緒に小学校へ行きたい!」と訴えた長男。ホームスクーリングの良さを力説しつつも、自信ゼロ、おまけに身内やママ友やご近所の目が気になって仕方がない妻……。こんな私達が、右往左往しながらも神様の召しに応答し、ホームスクーリングスタートという大きな一歩を踏み出すことになりました。まだ9ヶ月目なので、先輩方から学びたいことの方が多いのですが、実際ホームスクーリングを始めてみて得られた恵みや気づき、チャレンジについてもお分かちしたいと思います。

■「神様が育てて下さいますー
我が家のホームスクーリング3年間の歩み」
(東京会場) オモルイ 節子

「わたしを信じているわたしの民がへりくだり、悔い改めて、わたしに立ち帰り、わたしに祈り求めるなら、わたしはその罪を赦し、その地を回復しよう。」(歴代誌第2 7:14)

最初にホームスクーリングを目にしたのが1988年。まさか25年以上後に自分がホームスクーリングをしているなんて…! 神様のご計画に驚きつつ、8歳の息子とホームスクーリングしています。なぜ、我が家でホームスクーリングを始めることになったのか、その時の周囲や教育委員会等の反応と、自分たちが示された対応、また実際、始めてみての課題や良かったこと、また、神様に今、教えられていること等を分かち合えればと思っています。また、共に祈ることも示されています。ご参加の皆さんと共に祈り、神さまを

祈り求める時を持てればとも思っています。

■「ホームスクーリングと弟子訓練」
(東京会場) 梶山 直樹&志津

ホームスクーリングのゴールはどこでしょう？何を目指しているのでしょうか？主の弟子とはどのような人のことでしょうか？…ダビデは非常に困難な中で「主によって自分を力づけた」と聖書にあります。自ら主の御心を求め、主に従っていき、主にあって自らを建て上げることのできる主の弟子を目指して、共に励まし合い、祈り合うひとときとなれば…と願っています。

■「父から子に伝えるもの—ホームスクールの心」
(東京会場) グレッグ&とも子 スミス

ホームスクールは、神様からの素晴らしい招きです。ホームスクールをする中で、親は、神様を愛する心と生き方を、子供たちに伝えることができます。息子たちが小2、小4の時から、ホームスクールに導かれ、カリキュラムや、スポーツ、友達のことなど、様々なことを悩みましたが、ホームスクールをする本当の意味は、神様を愛し、神様に愛され、神様とともに親しく歩む、神の国をこの地にもたらすという生き方を、子供たちに伝え、子供たちとともにそのように歩むことだと、悟り始めました。分科会では、グレッグ、とも子、祐一郎(17)、献士(15)が、それぞれ、証をしたり、賛美をしたりする予定です。

■「主に導かれて、のんびりホームスクール」
(東京会場) 小西 辰則&智恵美

「あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それは、あなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。(ヨハネ 16:24)」2000年初夏に申命記 6:7 が目に留まり、それをしてほしいと願い求めました。主は道を開いてくださり、翌年にはチャーチスクール、2006年にはホー

ムスクールへと導かれました。我が家の、感覚的に物事をとらえる長女と論理的に考える次女。タイプの違う2人に対する、ここ数年の主のお取り扱いについてお話しします。

■「ホームスクールのダメダメ日記—
4年間の反省とこれから」
(大阪会場) 竿代 健

長男が小学生になる年に正式にスタートしたホームスクールも5年目。スケジュールや教材、活動や取り組みについて、4年間の変化と現状をお分かちしたいと思います。また、目標やねらいとして、心を育てる、身体を育てる、学力をつける、社会性を育てる、創造性を育てる、好奇心を育てるなどの項目について、取り組んでいるつものもの、ダメダメなこと、理想と現実、反省と決意、これからについてお話できたらと思います。ゆるーい毎日ですので、ダメダメ話になりそうですが、一緒に考えていただければと。

■「4年目突入、昨年度の気付き
～「何をするか」から「何をしないか」へ～」
(東京会場) 志賀 信泰&麗子

長男 雄信(9)、長女 実結(5)、次男 恵信(2)の5人家族です。雄信が小学校に上がるタイミングでホームスクーリングを始めました。昨年度からは、実結のホームスクーリングも始まり、より一層聖書を学ぶことに力を入れました。その過程で気づいたこと等を分かち合わせていただきます。

■「ホームスクーリング。だから…考えたこと／考えずに済んだこと。『子供たちとの15年』」
(東京会場) 高倉 正&幸子

横浜市在住、中3～2歳まで5人の子供達をホームスクーリング中。15年間、私たち夫婦は様々な出来事の中を通過してきました。ホームスクーリングに関心のある方、始めようと考えてお

られる方、またすでに始めた中で思案中の方、どうぞお越してください。お待ちしております。

■ 「ありの～ままの～♪」

谷井家チャーチ & ホームスクーリング 1 年目
(東京会場)

谷井 涙賀 & 玲子

今から3年前、主からチャーチスクールのビジョンを頂き、家族で千葉県から山梨県南アルプス市に移住しました。祈りつつ動き始めると、そこには不思議な主の導きを確認する、数々の恵みが散りばめられていました。ところが、いざ始めてみると開始早々試練が待ち受けていました。今回は、私達がチャーチ & ホームスクーリングを始めようと思った経緯と、それまでの導き、また昨年1年目に頂いた恵みを少しでも分かち合うことができたらと思っています。

■ 「フェリーチェ玉村国際小学校開校まで」

(東京会場) 田村 正幸

2004年にたった4人で始まった幼稚園が、2009年インターナショナルスクールとして小学部を設立し、そして、2015年4月文科省が許可する株式会社立の小学校設立に至りました。この小学校を建ててくださったのは神様です。この11年間で経験した神様の恵み、神様の御心についてお話しします。また、フェリーチェ国際子ども園、フェリーチェ玉村国際小学校への入学についてのご案内と職員募集についてもお話しします。

■ 「発達障害とホームスクール」

(東京会場) 辻 寿 & 奈央子

発達障害の子供のホームスクールについて分かち合います。障害ゆえの問題、必要な助けと励まし、信仰の歩みについてなど、私たち家族が感じたこと、良かったこと、失敗したことなどを分かち合いたいと思います。

■ 「急速に低年齢化する子どもの

性行動の実態と親の取組み」

(東京会場)

辻岡 健象 & 敏子

過激な性情報の氾濫によって、子ども達の中に性中毒・性依存症現象が増加しています。10代の性行動もフリーセックスから不特定多数の乱交時代になり、その結果10代の複合合併性感染症が急増しています。(受診者の内、4人に1人が罹患患者です。) 神から与えられている尊い「性」をタブー視することなく、人格の中心に置いて、いのちと性の尊厳「正しい性のあり方」を、親子でオープンに話し合うために、如何にすべきかを共に考えたいと願っています。

■ 「主が歩ませてくださった12年間

－田中家・那須家の子どもたち7人－

那須清志 & 7人のホームスクーラーズ

(大阪会場) 那須 清志 & 百合美

2003年9月に田中家、2004年4月に那須家が、それぞれの思いを胸にホームスクール開始。始めたときは互いの存在も知らず、主にあって独立独歩でしたがチアを通じて出会いが与えられました。それ以来助け合い、励まし合ってきた二家族でした。チャーチスクールでの勉強会、遠足、社会見学、理科キャンプ等、一緒に多くのことを学んできました。そして、12年経過。4歳から12歳までの7人の子たちが、今や15歳から23歳に。数々の迷い、涙、失敗もありましたが、それにも勝る主の恵みと祝福が注がれました。「今回の分科会で是非証ししたい」という思いが、特に年長の子どもたちに与えられています。田中家と那須家から代表してホームスクーラーたちにも報告してもらいます。

■ 「父母から受けたしつけと教育」

(大阪・東京会場) ナタン・ブローマン

子供の時に親から受けたしつけが、今までの人生の中でどれほど大きな祝福になったかと思うと、本当に感謝しています。子供として親は選ばれません。しかし、親として子供をどう教育するか選ぶことができます。

自分にとって親が選択してくれた教育について、誇りと感謝であふれています。今また振り返りながら、皆さんと分かち合いたいと思います。Q & Aも何でも受け付けます！

■「恵みの中のホームスクール」

(東京会場) 成瀬 太郎 & 由紀子

私たちは2008年に初めてチア・コンベンションに参加し、6年を経て2014年からホームスクーリングに踏み出しました。現在、小学5年(女)、3年(女)、2歳(男)とともに毎日家庭で過ごしています。決意までの経緯、小学校在学からホームスクーリングを始める際のプロセス、最初の1年に与えられた試練と恵み、現在の勉強方法など、夫と妻、それぞれの視点からお分かちしたいと思えます。

■「世界観 (World View)」

(大阪・東京会場)
ピーター・ブロックソム (Peter Blocksom)

人間に原罪があるのならば、それは、その人の世界観にどのように影響を及ぼすのでしょうか。聖書は、原罪について述べ、カール・マルクスは、人間は環境の産物であるという性善説を提起しました。政府の役割は、良い環境を提供しこの世界で天国をつくることです。この考えと聖書は両立できるのでしょうか。人間が環境の産物であるなら、個人の行動に責任を取ることができますか。聖書の教えと社会主義、共産主義と資本主義は、どのように関連するのでしょうか。

If man is evil, does that affect one's world view? The Bible talks about original sin, where Karl Marx talks propounded the be-

lief that man was good, that man a product of the environment? Therefore the government's job was to create the perfect environment to make heaven on earth. How does this align with the Bible? If man is a product of his environment, then is he responsible for his actions? How does a Christian belief system relate to Socialism, Communism and Capitalism?

■「愛の鞭」

(大阪・東京会場) ピリポ・ブローマン

聖書には子ども懲らしめるときに、鞭か杖を使うことについて書いてあります。いつ使うべきか、またその使い方についてお話しします。

■「これから世界で起こること」

(大阪・東京会場) ピリポ・ブローマン

いつの時代にも神様は、そのはかりごとをご自分の僕たちに示してくださいませ。(アモス3:7) 聖書に基づいてこれから起こるべきことについてお話しします。

■「伝道について」

(大阪・東京会場) ピリポ・ブローマン

キリストの福音伝道は誰ができるか、またその話すべき内容は何か、伝道すればどのような結果を期待できるかなどについてお話しいたします。

■「心の自信」

(東京会場) 藤井 一郎

ホームスクーリングの目的とスポーツの目的は同じです。ここ2,3年、メンタルトレーナーという言葉をよく耳にする様になりました。技術、体力だけでは強いアスリートになれないという事が、認識され始めています。ホームスクーリングの目的とスポーツの目的は同じです。自信の源は

どこにあるのか？クリスチャンアスリートの強さとは？み言葉を通して見つけましょう。

■「神さまに頑張っていたたく子育ての方法」
(大阪&東京会場)

藤田 桂子

子どもの好き嫌い、アレルギー、わがままなど、一生懸命子育てして疲れてしまうあなたが、もっと楽に楽しく子育てをするための学びです。子どもから「協力」を引き出し、自分も力を抜いて、神さまに子育てしていただく学びです。

■「家族が良いコミュニケーションを持つために」
(東京会場)

藤田 桂子

DISCの心理テストを行い、自分のタイプを知り、自分と子どものタイプや自分と伴侶のタイプを知り、どんなコミュニケーションの取り方が良いかを学び、お互いの理解と受容を深めるための実践できる学びです。

■「我が家のターニングポイント」
(東京会場)

藤原 樹里

東京都西部でホームスクール12年。神様の恵みに感謝します。娘(18歳)息子(9歳)になりました。娘は、高卒認定を取得して、現在、半年間の弟子訓練プログラムを受けています。ホームスクールは、親の訓練だな〜と、つくづく感じます。最近の近況と恵みについて、お分かちできれば…と思います。

■「チア・サポートスクール(CSS)」
(東京会場) 堀井 卓・宮崎 聡

1 ホームスクールの学習アドバイス
学習時間や内容、年齢に応じての参考書選びなどお話しします。

2 高卒認定について

科目内容や選び方の注意点、申込み方法など。

3 ホームスクーラーの受験について。

志望校の決め方、学習方法。ホームスクーラーならではの問題点など。

■「ホームスクーリングの実(7年たって…)」
(東京会場) 堀井 洋二

我が家の第一号、長女の瑠都が中学校卒業を期にホームスクーリングを始めたのが7年前。22才になった瑠都は今、台湾のユース・ウィズ・ア・ミッション(宣教団体)で聖書の学びをしています。9ヶ月間で創世記から黙示録までを英語で学ぶハードなコースですが、海外から集まった若者たちと元気に勉強しています。あの引っ込み思案だった瑠都が変わったもんだな…と、夫婦二人で主のなさることに驚いています。次女の帆南は同じ宣教団体の6ヶ月間のトレーニングを受けるために先月、沖縄に旅立ちました。4人の子供たちのうち3人は、我が家を離れて遠くで生活していますが、子供たちがイエス様とともに歩んでいる姿を見ることは私たち二人にとって大きな励みです。2年前に我が家を開放して新しくはじめた教会の仕事で忙しいせいか、私も妻もあまり寂しさを感じません。振り返ると実に変化の多い(チャレンジの多い)7年間でしたが、子供たちの若い人生の中に豊かな実りをもたらしてくださる神様の恵みに心から感謝しています。父親、母親として、夫、妻として、今だにたくさんのことを学ばされています。ホームスクーリングは子供たちだけでなく私たち夫婦にとっても最高の学校でした。たくさん教えられた中からいくつかお分かちできればと思います。

■「チーム松岡、七種類の人間」
(大阪会場) 松岡 淳裕

12年目に突入した我が家のホームスクーリング。17歳の長男(基)、15歳の次男(恵悟)の友人たちは、スタートの時期はそれぞれ違うが、

同じホームスクーラーとして切磋琢磨しながら成長してきた。皆个性的で魅力的な若者ばかりだ。彼らは、徐々に進路が具体的になり始めている。基や恵悟も内に秘めたる熱い思いをもっている(はずだ…?)。4歳の三男(正心良)、2歳の四男(裕貴)は、兄たちより早く、しかも生まれる前からホームスクーラーの環境下で育っている。日々主を見上げて、もがきながらも、前に向かって歩み続けているチーム松岡の現状と目指すところを、基の証をまじえてお分かち出来ればと思っています。

■「生涯倍加する弟子作り -

2テモテ 2:2 - パートⅡ

(大阪会場) 森山 剛 & 有佳子

昨年の白馬セミナーの分科会で、子供達を主の教育によってホームスクーリングしていくことの大切さ、重要性を取り上げましたが、今回はその続編。毎週行っている「フェイスタイム(父と子のマンツーマンの時間)」によって、この一年の間に、子供達の将来のビジョンも定まりつつあります。この神様の恵みを分かち合うとともに、フェイスタイムで使っている「弟子訓練プランシート」を紹介するとともに、この分科会に参加される方々にも、実際に体験していただこうと思っています。

■「森脇家の新たなステージ」

(東京会場) 森脇 弘隆 & 由美子

信州の小布施町にある新生病院に小児科医として導かれて20年が経ちました。2人の子どもたちもこの地で生まれ、自然豊かな北信の地で育ちました。しかし、この6月から神さまの導きにより八王子にある"スマイルこどもクリニック"のミッションを継承することとなり、家族で転居します。この新たなステージに向けて、神さまの絶妙なタイミング、素晴らしい導きがありました。まさに"神のなさることは、すべて時にかなって美しい。(伝道者の書 3:11)"と書いてある通り

です。今回は、夫婦でこの新たなステージへの導きなどについて証しをします。

■「祈りの家、チャーチ & ホームスクール

～礼拝者から伝道者へ～

(大阪会場) 山川 高平 & 久子

迷いながら格闘しながらのチャーチ & ホームスクール。しかし祈りの家である教会で、メディアから離れ祈りと御言葉を中心とした生活が始まりました。その中で少しずつ子供達が礼拝者として育ってきています。子供の成長にフォーカスを当てるといふより、ホームスクールの中で家族が一つとなり礼拝者、伝道者として世に出て行く事を期待しています。礼拝者として成熟する時、初めて伝道者として尽きない力をいただいて働くことができます。時間がかかりますが、土台作りは大切ということを教えられています。日頃主からいただいている恵みを分かち合えればと思います。

■「チャーチ & ホームスクール10年目」

～父の愛を受けて安息する～

(東京会場) 山川 哲平 & 真紀子

チアと出会い、ホームスクールベースのチャーチ & ホームスクールに導かれて10年目。現在は、8人の子供達(咲良、心、臨歌、夢、契、美波、礼、花香)と、合計4家族中心で英語中心のチャーチ & ホームスクールをしています。最近家族で日本や世界のあちらこちらを旅することがあります。形にとらわれなくて、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。今回は、父の愛を受けるホームスクーリングについてシェアできたら良いと思っています。また、「チャーチ & ホームスクールの祝福と落とし穴」、「夫婦関係」等もその時の導きで分かち合いたいと思います。主を求めることが問題の解決です。それこそが、家族円満の秘訣。子育ても、教会も、経済、ミニストリーの祝福の鍵も、父の愛を受け、安息する事が解決です。

我が家の体験から コンベンションへのご招待 ～Aさんのブログより～

コンベンションでは毎回多くを学ぶので、この素晴らしい機会を一人でも多くの人に知ってもらいたいなあと思い、我が家のブログに書きました。

私たちは2008年から参加しているのですが、毎回聖書に基づく子育て、夫婦関係、そして何より自分の信仰が問われ、悔い改めさせられ、慰められ、励まされる、恵みの場であることを感謝しています。

(略)…… チア・にっぽんは、聖書に基づく教育を家庭で実践するホームスクーリングやチャーチスクールを支援している団体です。

親がセミナーに出ている間、子ども達向けに「チルミニ(チルドレン・ミニストリー)」というプログラムがあります。年代別に分かれて、聖書の話の聞いたり、賛美の練習をしたり、楽しく遊んだり、クラフトをしたりと、毎回盛りだくさんです。スタッフの方の明るさ、落ち着き、愛が伝わるのか、子供たちもとても楽しみにしている時間です。うちの子どもたちは幼児の頃、託児に預け

た後は非常に機嫌が悪くなるが多かったのですが、チルミニだけはプログラム終了後も楽しそうにしていました。

また、特筆すべきは13～18歳向けのプログラム、LITです。LITはLeaders in Training(トレーニング中のリーダー)という意味で、チアスタッフの指導の下、コンベンションの運営をします。LITたちは、きびきびと、かつ喜びをもって奉仕してくれています。通常はティーンと言え、難しい年頃と言われ、大人とは話をしなかつたり、ということがあると思いますが、彼らは小さい子供たちをかわいがり、年長の人には礼儀正しく対応しています。うちの子供たちにとっても、ロールモデルとなる存在です。

メインスピーカーの講演はホームスクーリングを軸に、家族、夫婦、教育の本質に迫ります。分科会では創造論や性教育、運動、政治論なども含め、クリスチャン教育に必要な知識・情報・知恵が提供されます。ホームスクーリングを実践している方々の分科会でも、多くを学ぶことができます。

土曜日だけの参加も可能なので、聖書に基づく育児についてご興味のある方には、心からおすすめします。(東京・港区 Aさん)

☆自己紹介&アップデートタイム☆ at 東京コンベンション

《 6月12日(金) 18:45～ 大ホールにて予定 》

東京コンベンションにて、初日の夜、自己紹介&アップデートの時を持ちます！
皆さんをより知ることができると共に、励まし合えます！ぜひこの機会にご参加下さい♪
各家族の持ち時間(予定)は40秒(or 個人:30秒)！
終了後、各地域ごとのミーティングも計画中。

名簿作成の関係上、参加ご希望の方は、以下の申込事項を明記し、
Eメール(office@cheajapan.com)または、FAX(03-6862-8648)までお申込みください。

参加者お名前() () ()
() () ()

一言アピール欄

♪ 第2回 ジョイラン♪ アンケート

4月6日、特別講師として真鍋未央さんをお迎えして行われたジョイラン♪参加者の声をお届けします！

*****大人*****

●産後6ヶ月、調子を崩したり、ジョイラン直前まで風邪をこじらせたりで迎えたこの日でした。でも、お天気に恵まれ、桜が咲く中、ホームスクーラーの皆さんとの温かい交わりや、全力の頑張りにとっても励まされました。恵み豊かな一日を心から神様に感謝しました！体の衰えを痛感していた中で、未央コーチの「とにかく、やめない」「常に体を動かしている」という言葉が大きなヒントとなりました。今日学んだことを、神様の導きを求めつつ親子ともども生かしていけたらと思います。また、来年は私もチャレンジしたいなと思っています。心から感謝してい

ます。 (東京 Aさん)

●天気予報では一日雨でしたが、日本晴れで驚きました。運動が苦手なうちの子達にもプレゼントがあって、これはこれからも頑張るようにとの神様からのお達しと解らせて頂きました。御多忙中のご奉仕を感謝します。

(埼玉 Bさん)

●文字通りとてもジョイランニング出来ました！今年もこうやって楽しく運動する機会を設けてくださったチアに感謝です^^ 去年も思いましたが、改めて真鍋さんのストレッチや走り方のコツは参考になりました！

(宮城 松岡恵悟)

●当日はお天気にも恵まれ、本当に楽しい一日となり感謝でした。企画開催をありがとうございました。私たちだけではできないイベントなので、とても感謝しています。藤井さんのご奉仕にも本当に感謝します。真鍋さんも喜んで来てくださり、感謝します。多くの方々に支えられて、ホームスクールが助けられていることを神様に感謝するばかりです。初企画の“給水所”良かったです。お水を一番たくさん飲んだのは、稲葉さんだと思います！チアのスタッフの皆さんのご労に主が大きく報いてくださいますように。ますます祝福がありますようお祈りします。 (神奈川 Cさん)

●今回我が家からは誰も5キロ走に挑戦する者がいなかったのですが、頑張っておられる皆さんの姿を見て、我が家も皆が5キロ走れるようになることを目標に、普段から練習していきたいと思いました。未央さんのストレッチ、ランニングフォームなどのレッスンが大変良い勉強になりました。レッスンの後、走るために体が整えられたという実感が持てました。

(埼玉 植野愛)



神様へのジョイラン特訓中！



●天気にも恵まれ、広々とした会場で、桜吹雪の中、いろんな世代の子供たちと走って楽しかったです。レースに参加した大人の皆さんを尊敬します。チアに参加する子供達は、とても自然に小さい子をいつくしんでくれる様子が見られ、いつも幸せな気持ちになります。表彰式があったので、来年の励みになると思います。

(東京 Dさん)

*****子ども*****

●5キロ走で、目標だった25分を切る事ができて、とてもうれしかった。友達ともいっぱい遊べたので、とてもよかった。600メートル走でも銀メダルが取れて良かった。来年も、もっといいスコアを目指して頑張りたい。

(Aくん 12歳)

●1キロ走で、3位になれたことが嬉しかった。メダルをも

らったのは初めてです。はじめは走りたくなかったけれど走ってよかった。毎日トレーニングしようと思いました。

(Bくん 6歳)

●お友達と遊べて楽しかった。「走りたくない」と言ってしまったけれど、ちゃんと走れてよかった。

(Cくん 3歳)

●神様に向かって力いっぱい走れてとても気持ちよかったです。また参加したいです。

(Dくん 9歳)

●初参加で、5キロマラソン外周3周目でお腹が猛烈に痛くなったのですが、みんなの姿を見てとても励まされ完走することができました！初めて専門家の話を聞けて、走れなくても走ろうという気持ちになれました。

(Eさん 18歳)

●久しぶりにたくさん走ることができてよかったです。

(植野叶恵 8歳)

●楽しかった。メダルをもらえて嬉しかった。

(Fさん 10歳)

●大変だったけど、友達と走れてよかった。

(Gさん 8歳)

●とても良かったです！天気も雨の予報でしたが晴れて楽しく走ることができました！今年も5キロ走を取り入れてくださり感謝でした。去年走れませんでした。今年走れて良かったです。真鍋さんのレッスンもとても良く、勉強になりました。このような運動の機会をまた行ってくれたらうれしいです！

(中村義也 14歳)





た天文の仕事に戻るのには不可能とも言われていて、まさに主が奇跡をおこし、多くの皆さんの祈りに応えてくださったのだと思います。

私はといえば、2009年11月第七子妊娠中に精神的に不安定になってしまい、2010年4月三男上羽出産後、心身ともに疲れ切り、霊的にもダウンしてしまっていました（今思えば、まさに「燃え尽き」だったのだと思います）。そのことを通して、下諏訪の地に導かれたのですが、家族の愛に支えられ、共同体の交わりの中で徐々に力が与えられ、段々と回復していきました。

そして、稲葉さんの「休みに来てください」という呼びかけに応答して、私一人で休むために参加した2013年のコンベンションで、「私はもう回復している」ことを受け取ることができました。家族のいろんな問題に光が当てられ、体力面・精神面共に自分の弱さを思い知らされながら、恐る恐る参加したような状態でした。にもかかわらず、主がザンさんのメッセージを通して、優しく、しかしはっきりと「あなたはもう回復しているよ」と語って下さったのでした。

さらに一年後の2014年のコンベンションでは、自分の回復を本当に実感することができました。心からいろんな方たちとの交わりを楽しみ、講演や分科会を通してたくさんの方々に教えられ、さらに力をいただいて、帰ってくることができました。

弱っている時には交わりが負担になってさらに疲れてしまったりしていました。わたしは以前は「交わり命」で本当に交わりから力をもらっていたので、そのこと自体がショックでしたし、とて

もコンベンションなどの大きな集会には行くことのできない状態が続いていたのです。

そんな中、7年ぶりに参加した2013年のコンベンション、さらに2014年のコンベンションで、また交わりを心から楽しみ、交わりから力をもらえるように回復していることを実感することができ、本当にうれしく、主をたたえました。

また、弱くされたことで、大切なことをたくさん学ぶことができました。主が備えて下さった本来の自分の姿にも気付くことができました。さらに2014年の白馬で、デボラさんから「わたし自身がイエスさまから生涯ホームスクーリングされている」という視点を教えていただき、「子どもたちをホームスクーリングしている」ことばかり焦点を合わせてしまっていたことに気付かされました。子どもたちだけでなく、神さまがわたしにも素晴らしいご計画を現在進行形で持っていてに気付かされ、視野が広がったように感じています。そして、自分の力で何かをしようとして、神さまの邪魔をしていたことを悔い改めさせられました。2013～2014とコンベンションと白馬の両方に参加する恵みが与えられ、本当に感謝でした。主がわたしの必要をことごとく満たして下さり、今まさに必要なタイムリーな学びばかりで、深く教えられました。

このようにチアでの学びを通して、具体的な知恵が与えられ、我が家のホームスクーリングは日々軌道修正しながら、楽しく導かれています。これからも主が導いてくださる通りに歩んでいきたいと心から願っています。

チアの働きなくしては、我が家のホームスクーリングの継続はありえませんでした。そして、祈り支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。新しい方々がどんどん加えられ、チアの働きが広く深く、主によって前進し続けていること、本当に素晴らしいと思います。16年目のチアの歩みも、ますます大胆に主のみわざが現されていきますように、お祈りしています。

懐かしいみなさん、初めましてのみなさんとも、主にある交わりが開かれることを楽しみにしています。これからも家族9人、どうぞよろしくお願ひ致します。（長野・下諏訪町 衣笠葉子）

★ソーシャルメディア断食レポート (Part2) ★

2月11日に行われたチアサポートスクール保護者会にて、ソーシャルメディア断食へのチャレンジを呼びかけました。応答したチャレンジャーたちの報告&感想メール第二弾をお届けします！



白馬セミナーにて

★★★★★★★2月17日★★★★★★★

★今日もできました。チアサポートスクールの礼拝の時に発表する世界のいろんな国について調べる宿題で、ベトナムについて今日調べました。いつも僕はネットを使って調べているのですが、今回はネットを使わないで地図帳や地理の資料集で調べることができました。ネットをしなないと決めていることで他のやるべきことに集中できるので、とてもいい感じです。

中村義也

➔良かった！その取材力は今後に生きると思うよ。

稲葉

★今日も仕事面では効率的な作業ができました。来客者との取引もスムーズに行うことができました

た。翌日の取引の準備も予定時間内に終わることができました。Yahooのニュースアプリの通知がないので、非常に快適です。また、Facebookも通勤途中で通知があるとその都度、アプリを立ち上げてコメントなどを読んでいたのですが、2月12日から6日間、その通知から解放されました。特に緊急な連絡は電話やメールでの対応で十分なので、仕事での不自由さは全くありませんでした。帰宅後、6歳の雪恵や3歳のすすかとも入浴後に話をしたり、絵本を読んだりする時間的、精神的余裕が生まれました。13歳の義宣とも就寝

前に話をする時間を持ちました。ブログ更新についても、掲載サイクルや偶像礼拝に対する考え方などを伝える機会となりました。これだけ大切な時間をソーシャルネットワーキングサービスにより奪われていたのかと驚かされています。

豊田肇

★★★★★★★2月18日★★★★★★★

★昨日はネット使用時間ゼロ分でした(〜♪といっても、夜しようと思ったら、両親が祈り会を始めたので、できなかつただけなんですけどね(´・ω・)

伊澤響子

★1週間経過しました。これまでFacebookを見ることが習慣となっていましたが見ないことが「普通」となっていることに驚いています。会社での人間関係にも変化が起き、人との関わりを持とうとす

ることが増えました。19時以降は派遣社員の方々40名程度と数時間、テレビCMの反響営業の仕事をしており、新しく派遣されてきた方に仕事を教えたり、顧客対応で困っている社員のフォローをしたり、社員間でのトラブル対応などを行っているのですが、以前より、ひとりひとりのニーズや状況を把握しやすくなったように感じます。22時に仕事を終えて帰る途中でも、派遣社員の方に声をかける余裕が生まれました。また、日中の仕事においても、取引先とのコミュニケーションがスムーズにできました。また、就業時間内に仕事がほぼ予定通りに終わるようになり、だらだらと仕事が長引くことが激減しています。私の場合は、ソーシャルメディアをカットすることで、ここまで、効果が出るとは考えてもいなかったので、本当に驚いています。快適さが増しました。このようなチャレンジを与えてくださり、感謝します。

豊田肇

➡劇的な変化ですね。だらだらと仕事が長引くことが激減したとのこと、僕自身のケースでも、感じています。

稲葉

★今日もメディアを使わずに過ごせました！ハレルヤ！と、言っても自分はネット端末などを全て親に預けているので使いたくても使えない状態なのですが(^_^)。それでも一日の喜びや時間をどれだけメディアに使っていたかがよく分かるようになりました。最近は空いた時間を使って、聖書をゆっくり一節一節噛み締めながら読んでいます。これが凄く恵まれて楽しいのです！ゆっくり読む事によって一節の中でもどの部分に焦点を当てるかが変わって来ました。今になってはメディアはやらなければ、やらないほどいいと思っています(笑)。この期間が終わっても続けていきたいです。

最後に、今日も神様から語られていることから一部をシェアしたいと思います。エペソ4：1「召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい」僕たちが主から召されるなかで、僕たちはその召しを自分に現実的に当てはめて、または自分の可能と思える範囲にとどめて召しの大きさを押さえ込

んでいるかもしれない。でもここに書かれているのは召しにふさわしく歩む事。僕はお父さんが願うレベルまで成長したいと素直に思いました。ともに挑戦している皆さんの存在を祝福します！^o^

Aくん

➡すごい！メディア断食の先輩の再挑戦は、みんなへのすごい励ましになっているよ。良き模範をありがとう！聖書を一節一節噛み締めながら読んでいるとのこと、その気持ち、よくわかる。この数ヶ月、ジョセフが寝る前に、聖書を1章ぐらい読んでいます。声に出して聖書をずっと読むなんて経験、無かったのでは…と思った。そうするとA君が書いたように、「ゆっくり一節一節噛み締めながら読む」感じになり、今まで心に留まらなかったようなことが、深く心に入ってきて、「凄く恵まれて楽しい」よね。ぜひ良かったら、第2派グループも昨日からスタートしているから、さらに1週間足して、伴走して、応援してください。導かれなければ、無理なくていいけどね(^)。僕も、あわれんでもらい、神さまが願うレベルまで成長したいですと祈ります。聖霊なる神さま、助けてくださいとお願いします。

稲葉

★Aが皆さんとともにメディア断食を頑張っていること、本当に感謝です。お祈りもありがとうございます。皆さんの今までのメールのご報告も読ませていただいて本当に励まされています。

松岡さんのメールの中の、恵悟くんが示された主の御言葉、「しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリヤはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」ルカの福音書10章42節、このみ言葉が繰り返し示されているようです。

また、義也くんが書いてくれた「僕は神様から一つのことを今日学んだかなと思います。それはネットを使うこと、見ることを自分の心の軸としてはいけない、心の軸は神様にするんだということです。」

そして、波場くんの言葉、「大切なのはネットを見る見ないじゃなくて、神様御自身を求めることなんだ」「神様、あなたを愛してます！あなたをもっ



ジョイランにて

ともしっかりしたい！！」。

これらの言葉が、ほんとうに嬉しいし、感動しています！メディアを使ってない！というだけでは、ただの宗教みたいですが、クリスチャンホーム、ホームスクーラーの子どもたちが、今までメディアに使っていた時間、心を、神様に向けた時に、神様から力や励ましや語りかけを受けて、神様を純粋に愛する者となっていることは、本当に大きな希望です。稲葉さん、チアの皆様、本当に感謝します。主に栄光がありますように！

Bさん

➡真の目的を再度、クリアにしてくれて感謝です。すごい、価値ある希望ですね。ハレルヤ！

稲葉

★皆様、こんばんは！毎日の皆さんのコメントに感動しまくりです(T_T)。一週間が経ちますね。誘惑を感じたり、きつい時もあると思います。それでも、今までの皆さんのコメントを読みながら、ずっと感じてきたことは、きつさ以上に、軽やかさ、解放感、

自由を感じる喜び、力、変えられていく喜び、勝利感、そして、ますます主に近くなりたいという飢え乾き…そういったものです。私は今までネット断食はしたことがないのですが、食を絶つ断食の方は、いろいろとやってきていて、それと同じだと、気づきました。神様は、今の時代、ネット断食という、この時代に合った、特別な方法を提示してくださっているのかもしれない…とも思いました。私も気づいたら、皆さんの影響を受けて、仕事以外、ほぼ一緒に断食状態になっているかもです。(あ、朝の天気予報とか、チェックしてますが^^)あと一週間ですね。お祈りしています！明日も守られ、祝されますように…。

能登麻里

★今日も見ませんでした。チアサポートスクールで義也に会ってお互いネット断食をしている者同士、励まし合えたのではないかと思います(笑)。あっ、でも一回だけFacebookを開きました。必要な連絡事項があったのでそれを見ただけです。気づけば一週間経ってましたね。意外とあっという間でし

た！別にスマホ無くても生きていけましたね（笑）。今日は6時に起きました！（^-）5時に起きましたけど眠かったので2度寝してしまいました。朝起きて神様と交わって一日がスタートする、本当に心が満たされています！もう寝ます…。おやすみなさい！笑（^-）ー☆

波場瑛

➡いいよね（^）。励ましあうことが必要だから。1週間、早かったね！生きていけたね（^）。後半戦もあつという間だと思うよ（^）。

稲葉

★ハレルヤ！メディア断食、一週間経ちました。ネットもテレビも見ないのは、とても生活が楽になりますね！この一週間は、思うようにいかないこともあって、ちょっと気を抜いたらネットにはまって落ち込む危険もあったので、メディア断食でほんとうに守られたな～と感謝しています。「大草原の小さな家」シリーズの「長い冬」を読んで、すごく恵まれました。インガルス家の通された苦しい冬の経験も（その時は、ただ目の前にある生活を、忍耐しつつ誠実に生きるだけに思えても）、その後100年経っても、読む人々に励ましを与える尊い価値があって、神様がゆるされたのだな～と、神様の計画の確かさに感動しました。

藤原樹里

➡すごいですね。「長い冬」、励ましですね。僕たちの歩みも100年後も、誰かをキリストにあって励ませる歩みでありたいですね。もし、再臨がそれまでに無ければだけど（^）。主よ、御心でしたら、100年後にも僕たちの今の歩みが証しとなって、さらに福音のインパクトが拡がりますように！そのような歩みが、今日もできますように！

稲葉

★今日も頑張ることができました！まずは神様に感謝です！今日はチアサポートスクールに行く日でした。勉強も頑張れて、礼拝も恵まれました。

帰って家でも少し勉強するのですが、今までは勉強する前にパソコンを開いて、パソコンのメールをチェックしたり、僕の大好きなプロ野球のニュースなどを見ていたんです。そしてようやく勉強始め！でして…。僕がこの断食を始める時に、水曜日チアサポートスクールから帰ったらパソコンしないですぐに勉強始められるだろうかという不安を抱いていました。そして今日、帰ったらパソコンを開かずに勉強時間に入ることができました！その時の気持ちが、「あー、パソコン禁止で残念だったなー」じゃなくて、「よし！パソコンしないで勉強に入れたぜ！やったー！」という喜びの気持ちでした！神様が僕たちの気持ちをコントロールしてくれていることがとてもうれしいです！ネット断食始まってからちょうど半分経ちました。あと半分、みなさん神様から元気をいただいて頑張りましょう！オー！（^O^）

中村義也

<次号に続く>



ジョイランにて



定員220名

どなたでも大歓迎！
チア・サマーキャンプ
in 仙台・明泉学園

家族(乳幼児～ティーン～80代)・教会・スクールで、楽しめる企画いっぱい！
(乗馬・ウォーターファイト・滝つぼ・バイブルスタディほか)

父の心を子に向け、子の心を父に向けて—マラキ4:6

チア・サマーキャンプ

8/13 木 — 8/15 土 (8/12 前泊宿泊無料！)

★BOOK INFORMATION★

お待たせしました！ 遂に再版します！

★「聖書が教える結婚講座」第3版 ジョシュア・ハリス著

21歳で「もうデートや恋愛はしない」と決断した著者に、気になる女性が現れた！

★「聖書が教える親の道」第2版 ダン・ギルクライスト著

すべての親、祖父母、教育関係者必読の書。

★「したきりすずめのクリスマス」第2版 三浦綾子 絵みなみななみ

三浦綾子文学の真髓を、日本人なら誰でもわかる「舌切り雀」をベースに童話化。日本人の魂に染み入り、伝道やプレゼントに最適！



チア・にっぽん

TEL 042-318-1807

FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com

www.cheajapan.com

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

・神様のご臨在が有りありと現わされているお働きに感謝し、主をほめたたえます。チアの郵便物は、いつもタイミングよく届き、毎回祈りながら開封し、神様のお取り扱いを覚えています。今回 149 号も、ガラテヤ 2:20、I 列王 3:12、ピリピ 1:21 と、御言葉がちょうど重なり、とても励まされ、強められ、主のあわれみを覚えて、主をほめたたえています。文章をゆっくり噛み締めながら、一つ一つしっかりと心に刻ませていただき、主の教えとして蓄え、他にお役に立てるよう導かれたく願います。本当にいつもどうもありがとうございます。(神奈川・横浜市 Aさん)

・主の聖名を讃えます。早速「したきりすずめのクリスマス」2冊と「絵はがきセット」2部、同時にお届けくださいます。ありがとうございます。まことに、キリストの十字架の愛に生かされていることを知らされ、ざんげと感謝を捧げる者です。御働きの上に、主の御守りを祈ります。(北海道・札幌市 Bさん)

・いつもありがとうございます。いつも思うのですが、印刷物の隅から隅まで、主の愛が溢れていますね。チアで育った若人を用い、日本をリバイバルされる主を信じ、感謝し、大いに喜んでいます。(埼玉・長瀬市 Cさん)

・ハレルヤ！いつも素晴らしいレターやマガジンをありがとうございます！会費を送ります。益々祝されてご活躍くださいますように！(埼玉・さいたま市 Dさん)

・「したきりすずめのクリスマス」早速送って下さり、ありがとうございました。その日の午後、お世話になった不動産屋さんへプレゼントしてきました。(大阪・箕輪市 Eさん)

・「したきりすずめのクリスマス」という素晴らしい本に出会い、とても嬉しく思っております。(京都・中京区 Fさん)

・ニュースレターが届いて、メディア断食の記事を読み、何だか心が震える程感動しました。どうしてだか、読みながら涙が出てきて、今の時代の私達に必要な断食ってこれなんだと(もちろん、本当の断食もですが)、それをホームスクーラー達が率先してやっていくということが、どれ程の打ち破りと勝利をもたらすかと…!

ネット断食自体が目的ではなく、神様を愛するがため、もっともっと神様の臨在の中に深く入っていくために…。わたし自身も最近神様への飢え渴きが強められていく中で、自分がどれ程スマホに無駄な時間を取られてるかということをおぼわされていたので、実際にチャレンジしている若者たちや親たちの姿に本当に励まされました!

今後ともこういった呼びかけを、期間を決めたりしてやっていけたら、すごくいい!!と思われました。日々戦いがある中ですが、みんなで心を合わせて祈ることができたら、どれ程の打ち破りと勝利がもたらされるでしょう…!

(東京・大田区 Gさん)



チア・にっぽんカレンダー

●チア・コンベンション 2015

大阪 2015年6月5日(金)、6日(土)
東京 2015年6月12日(金)、13日(土)

●チア・サマーキャンプ 2015

2015年8月13日(木) - 8月15日(土)

●白馬セミナー 2015

2015年11月19日(木) - 11月21日(土)

★白馬セミナー講演・分科会 CD・DVD ★

50講演を収録した白馬講演DVD(コンピューター用・mp3版)には、特典としてデボラベル博士、ジョイス・イノウエさんらの講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チアホームページ、またはチア事務局へ! 定価6800円(税込)

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
定価: 本体 2,000円 + 税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

<本の内容>

- 序文、発達障害や精神障害の治療を願って
I. 発達障害から良くなった子供たち
II. どのように治療をするのか
A. 治療の枠組みと方法
B. 発達障害についての私たちの立場
C. 発達障害の治療への取り組み
D. 治療方法の説明
III. 治療に必要な知識や理論
A. 身体の形成と栄養の補給
B. 障害への対応の基礎知識
IV. 統計、よくある質問、索引
A. 発達障害検査統計
B. よくある質問

お問合せ: 株式会社ヨーゼフ

Tel: 043-207-6035 Fax: 043-207-6036

メール: info@yozeph.com ホームページ: http://yozeph.com

【1月会計】

収入	
献金	1,165,750
書籍・教科書	65,815
会費	34,000
広告	214,700
DVD/CD、ビデオ等	51,253
その他	35,460
1,566,978	
支出	
事務局経費	1,082,316
通信運搬費	76,077
交通費	44,336
印刷費	34,560
DVD & 商品仕入費	0
1,237,289	

残高	329,689
前期繰越	1,037,789
翌期繰越	1,367,478

【2月会計】

収入	
献金	1,147,040
書籍・教科書	98,397
会費	69,000
広告	0
DVD/CD、ビデオ等	45,893
その他	30,756
1,391,086	
支出	
事務局経費	1,023,388
通信運搬費	62,206
交通費	37,110
印刷費	333,460
DVD & 商品仕入費	0
出版プロジェクト	361,672
1,817,836	

残高	-426,750
前期繰越	1,367,478
翌期繰越	940,728

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com